

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立聴覚障害者情報センター	所管課	障害福祉課
所在地	甲府市北新1-2-12	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
管理方式	指定管理者((福)山梨県社会福祉事業団、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立聴覚障害者情報センター設置及び管理条例		
設置目的	聴覚障害者の情報不足を補うとともに、コミュニケーションの場を確保して福祉向上を図る。		
主な施設内容 (定員等)	・事務室、会議室、試写室、試写コーナー、相談室、スタジオ制作室、印刷室、パソコン室		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○聴覚障害者用の録画物の制作及び貸出しに関する業務 ○聴覚障害者に関する相談業務 ○手話通訳及び要約筆記を行う者の養成に係る講座の実施並びにその者の派遣に関する業務 ○その他、知事が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	なし
---------------	----

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成(20)年度	平成(21)年度	平成22年度	平成(23)年度 (目標値)
利用者数	手話通訳者派遣	2,379	2,115	1,675	
	要約筆記奉仕員派遣	424	265	234	
	ビデオ(DVD)貸出し	111	96	106	
	相談	151	137	118	
	中継	83	60	60	
	会議室利用	9,814	9,087	10,652	
	見学者等	544	225	353	
	利用者数合計	13,506	11,985	13,198	
	目標値	—	—	—	—
	目標値設定の考え方	—	—	—	—
対(20)年度比	100.0%	88.7%	97.7%	#VALUE!	
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成(21)年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成(23)年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	33,348,000	34,811,000	33,511,000	34,981,000
	その他	4,569,979	4,013,000	4,654,652	3,338,000
	収入合計(A)	37,917,979	38,824,000	38,165,652	38,319,000
支出	人件費	21,124,872	21,905,000	20,149,980	20,792,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	12,571,243	15,880,000	13,963,039	16,447,000
	(うち外部委託費)(B)	1,032,508	1,039,000	1,087,288	1,080,000
	支出合計(C)	34,728,623	38,824,000	35,200,307	38,319,000
収支差額(A-C)		3,189,356	0	2,965,345	0
外部委託比率(B÷C)		3.0%	2.7%	3.1%	2.8%
利用者一人当りの経費		2,782	#VALUE!	2,539	#VALUE!

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月～23年3月、実施方法:聴覚障害者情報センター利用者へのアンケート、回答数:83人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①職員対応	57.8%	31.3%	0.0%	10.8%
②手話通訳派遣事業	58.8%	35.3%	0.0%	5.9%
③要約筆記派遣事業	56.3%	37.5%	0.0%	6.3%
④ビデオライブラリー事業	45.5%	40.9%	4.5%	9.1%
⑤相談事業	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
⑥ろうあ者成人学級事業	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
⑦その他(就労支援事業)	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
各項目の平均	61.2%	33.6%	0.6%	4.6%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	○気持ちよく対応してくれる。 ○講師の養成講習会の開催を希望(手話通訳者派遣事業)。 ○もっと新しいものを入れてほしい(ビデオライブラリー共同制作事業)。 ○前向きに取り組んで情報を提供している(ろうあ者成人学級事業)。
利用者の意見への対応	○引き続き、利用者の意見も参考に事業を実施していく。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	事業計画に基づき日常的な清掃及び整理整頓を行うとともに、ビデオ製作機器の備品については、安全な保管、整備点検を行った。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。
運営業務	計画通り事業を実施するとともに中途失聴者等関係団体と連携を図る中で、ニーズの掘り起こしを行い、聴覚障害者の福祉の向上に努めた。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き利用者のニーズ把握に努め、聴覚障害者の福祉の向上に努めること。
自主事業		
利用状況	利用者には、概ね満足していただいているが、今後も利用者及び関係団体の声を聞き、サービスの向上に努めていく。	概ね計画どおり適正な管理運営がされている。
収支状況	手話通訳者等派遣事業において、利用者数は減少となったが事業の実施については適正に行われている。	市町村派遣業務委託料が減少したが、県からの委託料による収入の増があったため、収支状況に特に問題はない。引き続き、良好な財務状況を維持するよう努めること。
利用者満足度	アンケート調査の結果は、概ね良い評価であり、引き続き適正な運営を行っていく。	アンケート調査で、利用者が概ね満足している。引き続き県内唯一の情報提供施設としてニーズの掘り起こしを行い、特に情報保障、就労支援、災害対策等、その時々々のニーズや国の方針に合致した取り組みを積極的に行うことが必要。
運営目標の達成状況	手話通訳者等の派遣件数や相談件数は前年度実績を下回るものの、ビデオ(DVD)の貸し出し、会議室利用者及び見学者等の受け入れ人数は前年度実績を上回っている。 また、「新やまなし障害者プラン」に定めた目標である各年度、手話通訳者4名の養成については実績が3名、要約筆記奉仕員15名の養成については実績が17名となっており、前年度実績や計画を下回るものばかりではなく、前年度実績や計画を上回るものもあるため、総合的には運営目標についてはおおむね達成している。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	○現地確認を行ったところ、概ね業務は適正に実施されている。 ○利用者の満足度調査についても、概ね良好であるが、無回答の項目をできるだけ減らす工夫が必要である。 ○手話通訳者等の養成については、より一層講座内容を工夫する中で、「新やまなし障害者プラン」の数値目標の達成に向け取り組むこと。 ○利用者満足度調査の結果や、これまでの運営業務の分析を基に、引き続き聴覚障害者の福祉向上に向け施設の適正な管理運営に取り組むこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	○利用者の満足度調査について、無回答の項目をできるだけ減らすよう回答欄を工夫した。 ○手話通訳者等の養成については、「新やまなし障害者プラン」の数値目標の達成に向け、上級者を対象に特別コースを実施している。 ○県内聴覚障害者関係団体と連携しセンター運営に当たっていく。	

7. 管理体制(組織図)

